



## 2 市の将来像では 主役である"人"に着目

さまざまな人がつながり、支え合い、幸せや充実・安心を感じながら暮らし、人が輝きを増し、自発的に考え、まちづくりに取り組んでいくこと。そうすることで「市民一人ひとりの力」「地域で支え合う力」「まだ見ぬ那須塩原の魅力」「未来に向かってたくましく生きる力」などの「新しい力」が生まれるのではないのでしょうか。



人がつながり 新しい力が湧きあがるまち 那須塩原

## 3 人口減少に歯止め 目標人口を設定

総合計画に掲げる政策・施策を推進することで得られる効果を見込み、「目標人口」を推計しました。合計特殊出生率と純移動率を改善することで平成37年の推計人口は115,769人となることから、10年後の目標人口を115,800人とします。



## 4 エリアごとに 方向性を規定

土地利用の現況や地理的条件、産業構造などの特性から、市全体を4つのエリアに分け、まちづくりを進めていきます。

**市街地エリア**  
3つの鉄道駅を中心とした用途地域とその周辺地域を市街地エリアとして位置付け、良好な市街地の形成と都市機能の誘導を推進します。

**フロンティアエリア**  
2つのインターチェンジを中心とする地域をフロンティアエリアと位置付け、立地特性を最大限活かすことができる工業生産、物流機能などの新たな都市機能を段階的・計画的に誘導します。

**農業・集落エリア**  
農業生産基盤と集落生活環境の維持向上を図るとともに、那須野が原開拓の歴史を今に伝える景観の保全や集落環境の整備に努めます。

**山間・観光エリア**  
本市西部の山岳地帯を、山間・観光エリアとして位置付け、豊かな自然環境の保全に努めます。



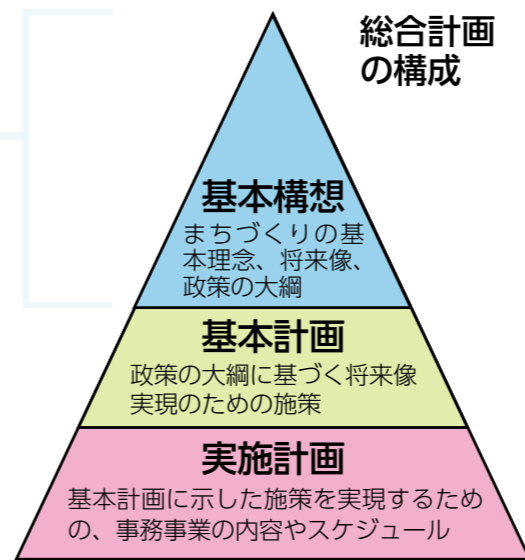
第2次那須塩原市総合計画に基づくまちづくりがスタート

# 未来に向かって



10年後の市の将来像は

## 人がつながり 新しい力が湧きあがるまち 那須塩原



今後10年間のまちづくりの道しるべとなる第2次那須塩原市総合計画。約2年にわたって議論を重ね、策定した本計画に基づくまちづくりがスタートします。

**総** 合計画は、まちづくりを進めていくための基本的な方針が書かれた最も重要な長期計画のこと。まちづくりの基本理念に基づき、目指すべき将来像を実現するための政策・施策を体系的に表したものです。この計画で定めた市が新たに目指す将来像は、「人がつながり新しい力が湧きあがるまち那須塩原」。まちづくりの主体は、そこに住んでいる皆さん自身です。先人たちがこのまちを切り拓いてきたように、これからの10年もさらに力強く前に進んでいかなければいけません。ここでは総合計画の核となる基本構想の考え方をお伝えします。

## 1 まちづくりの基本理念 は大きく分けて3つ

まちづくりの主役は「市民」という視点に立ち、次の3つを基本理念に決めました。

### 自然を守り、共生するまちづくり

那須塩原には、雄大な山々、清らかな河川、風光明媚な渓谷などの美しく豊かな自然があります。財産であるこの自然を後世に引き継ぐため、自然を守り、共生するまちづくりを進めていきます。

### 人を中心に、共に支え合うまちづくり

この地に暮らしてきた人々が、共に手を取り支え合ってまちをつくってきたように、市民を中心に、共に支え合い安心して暮らせるまちづくりを進めていきます。

### 歴史に学び、開拓精神が息づくまちづくり

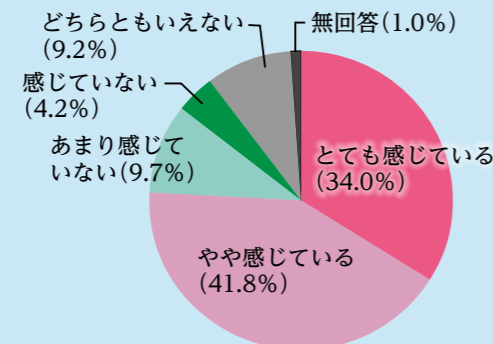
那須野が原の不毛な原野を開拓することは、大変な苦労が伴いました。先人たちは、過酷な自然環境と闘いながら、農地の開発や那須疏水の開削を行い、今日の那須野が原を作り上げました。こうした忍耐強さや新たなものごとに取り組む不屈の開拓精神を受け継ぎ、まちづくりを進めていきます。



### 策定過程では、 市民アンケートを行いました

計画の策定にあたり、市民の皆さんの那須塩原市に対する意識(住みやすさ、魅力に感じているところ、訪問や定住を進めるかどうか、など)をアンケートで集計しました。ここではその一部を紹介します。

Q. 愛着をどのくらい感じていますか?



Q. これからも住み続けたいと思いますか?

